



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2023
6月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

北陸支部 設立記念セミナー開催間近! 栄養経営士の未来を語るプログラムが決定

全国からセミナーに参加し 栄養部門の可能性を考えよう!

7月8日(土)開催の日本栄養経営実践協会北陸支部の設立記念セミナー(会場:石川県地場産業振興センター/オンライン配信あり)まであと10日余となった。石井要北陸支部支部長と宮澤靖代表理事の対談のほか、北陸支部理事による特別講演も決定した。今号では直前情報としてプログラムの詳細をお知らせする。

栄養経営士の役割とこれからの展望を語る
北陸支部設立記念セミナーのプログラムについて、詳細が判明したのでご紹介する。

メインプログラムとして行われるのは石井要北陸支部支部長(公立松任石川中央病院外 科・部長)と宮澤靖代表理事(東京医科大学病院 栄養管理科科長)による基調対談で、テーマは「診療報酬改定! 大きく変わる栄養士の役割〜栄養経営士の重要性〜」。病棟常駐や医療・介護福祉の現場における栄養への期待の高まりなど、ここ数年で栄養部門を取り巻く状況は大きく変化している。その変化の波に乗り、周囲から求められる以上の役割をこなしていくことが、管理栄養士の輝かしい未来に向けて必要になっていくだろう。そこで、今の管理栄養士に求められていることを踏まえ、改めて栄養経営士の存在意義や重要性、経営士としての役割、これからの展望といった内容が語られる予定である。長年医療現場で栄養に携わってきた者同士だからこそできる石井支部長と宮澤代表理事による熱い語らいを、ぜひ聞いていただきたい。



北陸支部の石井要支部長



宮澤靖代表理事も現地で登壇する

施設における栄養部門の今と未来を考える
もうひとつの演目は「『元気』を届けるプロ集団の一員として〜栄養部門の今、そしてこれから〜」と題して、

行われる、米原恭子北陸支部理事(五省会西能病院診療技術部長)による特別講演である。病院管理栄養士としてはもちろん、富山県栄養士会の理事としても活躍されている米原理事の講演は、現場で活躍する栄養経営士にとって、参考になる情報がたくさん詰まっているはずだ。講演を聞いて、真

似てくるようなところは、どんな取り入れて業務マネジメント・改革を行って欲しい。仲間や理事の先生方と直接会える、貴重な機会をぜひ活用して、参加者の皆さんの栄養経営士としてのさらなる躍進を期待したい。

※北陸支部設立記念セミナーの詳細と参加申込みは下記をご確認ください

日本栄養経営実践協会 北陸支部設立記念セミナー プログラム

ご挨拶	石井要氏 (日本栄養経営実践協会 北陸支部支部長/公立松任石川中央病院 外科・部長) 宮澤靖氏 (日本栄養経営実践協会 代表理事/東京医科大学病院 栄養管理科科長)
基調対談	「診療報酬改定! 大きく変わる栄養士の役割〜栄養経営士の重要性〜」 宮澤靖氏 (日本栄養経営実践協会 代表理事) 石井要氏 (日本栄養経営実践協会 北陸支部支部長)
特別講演	「『元気』を届けるプロ集団の一員として〜栄養部門の今、そしてこれから〜」 米原恭子氏 (日本栄養経営実践協会北陸支部理事/特定医療法人財団五省会 西能病院診療技術部 栄養科科長)
閉会挨拶	田中弘美氏 (日本栄養経営実践協会北陸支部副支部長/北陸学院大学 健康科学部 栄養学科 教授)

日本栄養経営実践協会 北陸支部設立記念セミナー

開催日: **7月8日(土)** 14:00~16:30(予定)
※終了時間は延長する場合がございます。

参加受付中

お申込みは
こちらから



●参加費

会員、定期購読者: 2,000円
一般: 3,000円
※会員: 栄養経営士、栄養経営サポーター
※定期購読者: 日本医療企画刊行の雑誌

●開催形式

現地およびオンライン開催
(ZOOM使用)

●定員

100名

●開場

石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室
(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)

●後援

一般社団法人日本栄養経営実践協会

(問い合わせ先)

株式会社日本医療企画北信越支社(担当:若松) TEL:076-231-7731

多職種連携のチーム医療の一翼を担い より良い栄養サポートを実現しよう

5月27日(土)に宮澤靖代表理事が大会長を務めた「第14回日本臨床栄養代謝学会首都圏支部学術集会」が開催された。大会テーマは「連携の先にみえるもの―戮力協力の栄養サポート―」。東京駅直結のセッションコンファレンス東京という好立地で行われ、約650人が参加、栄養経営士5人が発表者として演題に立った。

迅速な栄養サポートには 多職種間の情報共有が重要

大会当日、受付には長蛇の列ができ、参加者の関心の高さと熱意が感じられた。

開会のあいさつでは宮澤靖代表理事が「早朝からたくさんの方にご参加いただいております。ぜひ、今日のセミナーでひとつでも多く



開会のあいさつをする宮澤靖代表理事

患者への栄養サポートを通じて、多職種で栄養管理の価値を共有する」というテーマで発表した寺田さんは、ビジネスチャットツールを導入しスタッフ間の情報交換として利用しつつ、他職種にICUでの栄養管理の啓発を行い、チーム医療の体制づくりと栄養サポート介入までの時間短縮を実現したことを報告。

これにより院内における栄養科の評価があがったと語り、「今後はスピード感と危機感を持って対応できるようにするのが課題」と話して発表を終えた。

次に行われた一般演題3では福勢麻結子さん(東京医科大学病院 栄養管理科)が登壇し「ICUにおける栄養評価を目的とした体成分分析装置の活用と実践報告」のテーマで発表した。食道がんの術



発表後のセッションで質問に答える寺田師さん



管理栄養士セッションの座長を務めた福勢麻結子さん



フロアからの質問に答える齊藤大蔵さん

を調べ、管理栄養士が病棟常駐へと変わっていった2018〜21年の間で医師・看護師のオーダー割合が減り管理栄養士のオーダー割合が増加、栄養関連業務について他職種からのタスクシフト・シェアが実現できていると報告した。フロアからの「病棟常駐のための

教育体制はどうなっているのか」という問いには「そこが一番難しい。具体的には先輩が付き添いマンツーマンでここに座って、パソコンはこれで」と二から教えるところから始めて「病棟ずつ増やしていった」と自院でとった手法を説明した。

「今日と同じ明日は来ない」 悔いのない栄養管理を

午後からはランチョンセミナーで宮澤靖代表理事が「院内唯一の栄養専門職として患者ファーストを貫く―食費高騰と経腸栄養合併症を考える―」のテーマで講演を行った。

最後に「今日と同じ明日は来ない。これを頭に置いて明日からの業務に励んで欲しい」との言葉を残して講演を締めくくった。

また、同じ一般演題5で千葉枝里子さん(東京医科大学病院栄養管理科)が登壇し、「病棟栄養サポートの実践―脳腫瘍術後の経口摂取につなげた1例―」の演題で発表した。病棟常駐型のチーム医療で多職種による情報共有と栄養サポートを

※当日、ご登壇された栄養経営士のみなさんのコメントを次ページに掲載しています。ぜひご覧ください。

「発表が励みになる!」 登壇した栄養経営士の生の声をお届けします

セッション外での意見交換が現地の醍醐味 齊藤大蔵

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院 医療技術部栄養科

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後、初の首都圏支部学術集会となりました。会場参加者が非常に多く、各セッションでは質問が多数出ており、活気のある学術集会でした。また会場参加の醍醐味は何と言っても、セッション以外の時間に先生方と意見交換できることです。たくさん先生方とお話することができました。

私的なことと言えば、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた2020年から開始しましたNutrition Laboratoryを見てくださっている方にお会いし、声をかけていただきました。今までオンラインでの勉強会のため、参加して下さる方と直接お話しする機会がありませんでしたが、首都圏支部会に参加し直接声をかけてもらい非常に励みになりました。

発表後の聴講者の反応が現地大会の魅力 福勢麻結子

学校法人東京医科大学 東京医科大学病院
栄養管理科

私は管理栄養士セッション「管理栄養士が知っておきたい重症患者の栄養サポートと多職種連携」のコーディネーターおよび座長と、一般演題「ICUにおける栄養評価を目的とした体成分分析装置の活用と実践報告」の発表をさせていただきました。

管理栄養士セッションは朝一のスケジュールでしたが、会場に入りきらないほど多くの方に足を運んでいただきました。重症患者の栄養サポートへの関心の高さがうかがえました。一般演題はICUで体成分分析装置を活用した発表でしたが、体水分の影響などで結果の解釈が難しく、まとめ方や考察に苦慮しました。

発表後にご質問やご意見を伺い、ご聴講いただいた皆さまの反応を体感できることが現地開催の魅力であると感じました。

試行錯誤した体験を聴講者と共有できた 寺田 師

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 栄養科

今回、私は管理栄養士セッションの演者として登壇させていただきました。会場に入りきらないほどの聴講者に身の引き締まる思いでした。

早期栄養介入管理に関わる同僚への感謝と「なぜ管理栄養士が集中治療室で栄養管理をするのか」について皆さんと価値の共有をしたいと思い、お話をいたしました。チームビルディングや教育についての質問をいただき、聴講された方々と、私が試行錯誤した体験も共有できたと思います。

佐々木淳先生の教育講演でのお言葉、「急性期では退院をゴールとってしまうかもしれませんが、在宅にとってはスタートなのです」に大変感銘を受けました。集中治療室から一般床、在宅へと管理栄養士もパトンをつないでいきたいです。

栄養サポートへの情熱を肌で感じた大会

千葉枝里子

学校法人東京医科大学 東京医科大学病院
栄養管理科

本大会は所属している東京医科大学病院の宮澤靖科長が大会長を務め、当院の栄養管理科スタッフも一体となって取り組んだ大会で、大変思い入れが深い1日でありました。参加者数は600人越えと大変な賑わいをみせており、また会場内で熱いディスカッションが盛んに行われ、職種問わず栄養サポートへの情熱を肌で感じることができました。

私自身も現地での発表は久しぶりでしたが、真剣な表情で聞いてもらえていることが伝わり、緊張よりもうれしさの方が大きかったです。また発表後、他施設の先生方と意見交換を行なったことで自身の発表内容への理解がより深まりました。普段、直接お会いできない先生方と挨拶や雑談など交流ができるのも現地開催ならではの魅力だと思います。学会でいただいた知識とエネルギーでよりよい栄養サポートにつなげてまいります。

多職種連携での関わり方のヒントを得た

村田里佳

公立昭和病院 栄養科

先日開催されたJSPEN首都圏支部学術集会は「多職種連携」がキーワードになっており、先生方の講演や発表を聞き、管理栄養士としてどのように関わるとよいのか、たくさんヒントをいただきました。

私自身は一般演題で発表させていただきました。テーマは「病棟栄養カンファレンス～スクリーニング項目改定前後での比較～」です。日常業務について振り返り、どのような効果があったのか確認するためにも、自分の業務をまとめることは重要だと改めて感じることができました。最後のセッションにも関わらず会場にはたくさんの参加者がおられ、今回は学生さんからもご質問をいただきました。

参加された皆さんの熱心さがとても伝わり、明日からまたがんばろうとモチベーションが高まった学会でした。

支部NEWS 北海道支部

北海道支部研究会が再開! 所属施設の理念の理解を深めよう

コロナ禍で中断していた栄養経営士北海道支部研究会が、4月15日(土)新たな形で再開しました。第1回は支部会員限定とし、「まずは病院・施設が目指す方向性を理解しよう!」をテーマに、会場およびオンラインにて開催しました。

変化の今はチャンスにあふれている

本研究会は、協会と北海道支部の理事を兼任する田中智美さん(手稲溪仁会病院)をはじめ、支部理事を務める角直子さん(札幌偵心会病院)と多田梨保さん(済生会小樽病院)と事務局で打ち合わせを重ね、テーマを設定しました。

冒頭で田中さんは、「診療報酬が大きく変わってきているなか、マネジメント的な視点をふまえ、今は色々なことをやっていくチャンス。悩みはそれぞれあって対策を講じようと模索している最中と思うが、前提にあるべきは自身が働いている施設の方針を理解すること。皆さんの考えを共有し、ヒントを見つけられる場にしたい」と述べました。

イントロダクションとして行われたのは、参加者それぞれの部署運営における課題の共有です。スタッフの育成や業務量の調整、食材費の高騰といった切実な悩みについて、参加者同士で忌憚ない意見を交わしました。「栄養士の我慢や努力ではもう太刀打ちできない段階に来ている。もっ

と声をあげよう」、「日頃から他部署ともコミュニケーションを取りながら、少しずつ要望をかなえていくのも手」など、さまざまな意見が挙がりました。

BSCを用いた、成果を上げる取り組みを発表

続いて、各施設における栄養部門のマネジメントの現状を知るため、各理事の発表が行われました。角さんは、所属病院のBSC(バランス・スコアカード)に即した栄養科のBSC項目としてすすめる、連携医療機関における栄養食事指導について発表。取り組みにあたり、法人の介護保険施設所属の管理栄養士にも協力が得られ、法人内の連携促進にもつながっていると説明しました。「病院BSCを達成するための栄養科の取り組みだからこそ、他部署も巻き込むことができた。結果、介護部門の人員増員も検討してもらえることになり、手応えを感じている」と話しました。

続く多田さんは、所属病院の合言葉である「自らも組織のファンとなり、地域に選ばれる病院となる」を大前提にした部署運営の現状を報告。「SWOT分析やBSCを用いつつ、ひとつの成果を単体で終わらせるのではなく、何かに関連づけて次の展開を考えていきたい」と述べました。

最後に田中さんは、まず「マネジメント」の概念について説明。ピーター・ドラッカーの言葉を引用

し、「マネジメントとは組織を統制することではなく、組織が成果を上げるための仕組みを考えると」とし、自部署で取り組むBSCの具体的な中身について紹介しました。「個々人が専門性を発揮して活躍したことを数字で示すとともに、患者さんのQOL向上といったプライスレスの成果についてもしっかりと表現することができれば、管理栄養士の経営的な存在意義をアピールすることができるはず」と力を込めました。

会場、オンライン問わず、参加者同士ざっくばらんな意見が交わされ、研究会は終了しました。

本研究会は、北海道支部の会員を対象に、2024年3月まで継続して開催する予定です。次回は7月22日(土)、人材育成がテーマ。北海道支部会員はふるってご参加ください!



久々の北海道支部研究会に話が尽きない参加者たち

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

九州支部研究会

管理栄養士のための基礎医学講座 管理栄養士が知っておくべき動脈硬化のガイドライン

今回のテーマは、2022年に新しいガイドラインが発表された動脈硬化。医学的な基礎知識を身につけたい方はもちろん、栄養指導で患者さんにもっと興味を持っていただくにはどうすればよいのかという悩みを抱える方にもおすすめの講座です。

- 日程：2023年7月15日(土)10:30~16:30
- 講師：三浦公志郎氏(九州女子大学家政学部栄養学科教授/医師)
- 参加費：【会員】7,000円 【一般】8,000円 ※税込
- 会場：第三博多偕成ビル503(福岡市博多区博多駅南1-3-6)/Zoom
- 定員：【会場】6名 【オンライン】34名 ※先着順
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支部(担当:中野)
TEL:092-418-2828



WEBセミナー情報

摂食嚥下障害者の栄養管理に関する ポジションペーパー解説セミナー

2022年8月に日本のJWINDというグループから、摂食嚥下障害者に対して栄養の専門家が取り組むべき課題や、有効なアプローチ方法などがまとめられた「摂食嚥下障害者の栄養管理に関するポジションペーパー」が発表されました。その内容を30分でコンパクトに解説するセミナーです。

- 日程：2023年7月13日(木)12:30~13:00
- 参加費：無料
- 方式：オンライン
- 主催・お問い合わせ：ニュートリー株式会社 CLUB NUTRI
Mail:enge@nutri.co.jp
TEL:03-3553-2903



栄養経営実践オンラインセミナー 褥瘡管理で目指す! 管理栄養士の病棟常駐

2022年度診療報酬改定では入院患者への褥瘡対策が見直され、診療計画において必要に応じて栄養管理に関する事項の記載が求められるようになり、管理栄養士との連携も明記されました。

今回は、日本褥瘡学会の理事も務める、褥瘡管理の栄養に詳しい真壁昇理事を講師にお招きし、褥瘡、スキン-テアの基礎知識からアセスメントのポイントまで解説いただきます。自分の強みをしっかり身につけて、病棟で活躍できる管理栄養士を目指しましょう!

プログラム

- ▼病棟で管理栄養士に求められる褥瘡の知識
- ▼褥瘡のアセスメントのポイント
- ▼スキン-テアのアセスメントのポイント
- ▼質疑応答

2023年7月12日(水) 19:00~20:00

〈開催方式〉
オンライン(Zoom)

〈参加費〉※税込
会 員：2,000円
その他一般：3,000円

〈開催方式〉
オンライン(Zoom)

〈主催・お問い合わせ〉
日本栄養経営実践協会
E-mail:info@nutrition-management.jp

↓お申込みは
こちらから



真壁 昇 関西電力病院 栄養管理室長/日本栄養経営実践協会 理事

皆さまは「管理栄養士Welcome」の病棟で勤務されているのでしょうか? そのような病棟環境を醸成するポイントは共通しています。それは、栄養管理のシステムや組織、または医師や他職種に恵まれることなく、担当管理栄養士次第であり、環境は己の鏡なのです。

いよいよ、病棟スタッフに好まれる管理栄養士になるためのセミナーが開催されます。今回は、褥瘡管理を視点にそのスキルアップを含めて概説し、意見交換をしたいと思います。短い時間ながらも共に共有し、有意義な時間に行きましょう。ご参加をお待ちしております!

2023年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索

